

様式 13

論文の概要および審査結果の要旨

氏名：林 真二

学位の種類：博士（看護学）

学位記番号：看博甲第1号

学位授与の日付：2021年9月17日

学位授与の要件：関西福祉大学大学院 学位授与規程第3条第2項

研究科・専攻：看護学研究科看護学専攻

学位論文題目：地域高齢者の虐待を早期に把握するための民生委員用チェックリストの開発に関する研究

論文審査委員 主査： 今磯 純子 (関西福祉大学・教授)

副査： 原田 春美 (関西福祉大学・教授)

副査： 小西 美智子 (関西福祉大学・教授)

論文の概要

本論文は、民生委員が虐待状況を地域高齢者の日常生活行動から早期に把握できる民生委員用高齢者虐待チェックリスト（以下、チェックリストと記す）を開発し、保健福祉専門職の活動に連動して、地域高齢者及び地域住民のQOL維持向上に貢献することを目的に、3段階の研究課題を設定し研究を行った。

第1段階は、文献検討及び専門職用アセスメント表等から高齢者虐待の疑われる場面や状況を示すデータを収集・検討し、アイテムプール40項目を基に25項目チェックリスト案を作成した。第2段階は、25項目チェックリスト案を基に民生委員48人、保健師・看護師及び福祉職（以下、専門職と記す）108人を対象に状況判断調査を実施した。統計分析より「家族介護力の低下」「高齢者の生活行動が不自然」「本人の訴え」「所在の不確定」からなる4因子19項目構成のチェックリストの信頼性・妥当性が支持された。第3段階は、19項目チェックリストを民生委員が日常活動の中で10事例の高齢者の状況把握に用いることで、専門職の対応として家庭訪問やケア会議開催へ繋げた成果を論述している。

以上の知見を基に、開発された19項目チェックリストは民生委員と専門職との連携手段として機能し、高齢者虐待予防を目指す地域看護活動の進展に寄与できると提言している。

論文審査の結果の要旨

審査委員会は、本論文は研究としての独創性、論理性、研究手段の確実性、地域看護学の発展への寄与という観点、および学術的価値、研究成果の有用性、人々の健康福祉への貢献、実践への適用可能性において、優れた博士学位論文として評価する。